

会議名	平成 22 年度第1回 第 2 分科会(健康、福祉分野)
日時	平成 22 年 10 月 4 日(月) 13 時 30 分～16 時 30 分
場所	江南市市民体育会館 2 階 第 2 会議室
出席者	市民委員 平松宏幸、小椋雅江、伊藤倫子、福田正義、水野純子、渡部敬俊
	市職員 安藤利継、佐藤和弥、前田明廣、箕浦規師、江口勲
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今年度のまちづくり会議について</li> <li>2. まちづくり評価シートについて</li> <li>3. 江南市戦略計画の見直しについて</li> <li>4. 委員及び市職員の紹介</li> <li>5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて</li> <li>6. 平成 22 年度第 2 回以降のまちづくり会議(分野別会議)日程について</li> </ol>
資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 江南市まちづくり会議委員名簿(資料 1)</li> <li>2. まちづくり評価について(資料 2)</li> <li>3. 達成率の計算及び達成状況の表示について(資料 2-1)</li> <li>4. 「江南市戦略計画」見直しの考え方について(資料 3)</li> <li>5. 目標フレーム見直しの考え方(別紙 1)</li> <li>6. 新たな環境変化(主なもの)(別紙 2)</li> <li>7. まちづくり会議のスケジュール(資料 4)</li> <li>8. まちづくり評価シート(資料 5)</li> <li>9. 戦略計画見直し作業結果シート(資料 6)</li> <li>10. 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査報告書(資料 7)</li> </ol>

## ◆ 会議結果 ◆

### 1. 今年度のまちづくり会議について

・まちづくり評価の概要とまちづくり会議のスケジュールについて、経営企画部長より説明がありました。

### 2. まちづくり評価シートについて

・まちづくり評価シートについて、行政経営課行政マネジメントグループリーダーより説明がありました。

### 3. 江南市戦略計画の見直しについて

・江南市戦略計画の見直しについて、行政経営課政策決定支援グループリーダーより説明がありました。

### 4. 委員及び市職員の紹介

・各種団体代表及び市職員の委員のうち変更があった委員について、事務局より紹介がありました。

### 5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて

・江南市戦略計画の前期期間(H20～H22)のまちづくり評価及び戦略計画の見直し案について、担当課長から説明がありました。各柱に対する意見等は次のとおりです。

#### 〔柱 1〕個別目標③「老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている」

・シルバー人材センター登録員の就業率は何%かという質問が出され、就業率は把握していないが、登録してもなかなか仕事が回ってこない職種もあると聞いているとの説明がありました。

・非常に忙しい職種も一部にはあるが、多くの職種は仕事が少ないと聞いているが、他市の状況を調査するなど、市でもっと仕事を増やすことができないかとの意見があり、シルバー人材センターでは一部にそうした検討も行っているが、景気低迷などの影響で企業からの依頼も少ない状況であるとの説明がありました。

・シルバー人材センターの運営に、市が意見を言うことはできないのかとの質問が出され、市からは補助金を交付しており、高齢者生きがい課長が理事になっているので、意見を言うことはできるとの説明がありました。

・登録してもなかなか仕事がない状況の中で、今後増加する高齢者が生きがいをもって働くことができるよう、シルバー人材センターとしても考える必要があるとの意見がありました。

・老人クラブの会員数が減っているのは何故かとの質問が出され、名称に抵抗があるのではないかと、排他的な風土があるのではないかなどの意見がありました。

・老人クラブの活性化を図り、時代に合ったあり方を考える必要があるとの意見がありました。

・老人の生きがいづくりということに対しては、シルバー人材センターや老人クラブだけではなく、サロンもかなり有効であると思われるので、サロンも活用していくべきとの意見があり、サロンは、社会福祉協議会が実施している事業で、ボランティアと一体となって進められているとの説明がありました。

・市は、サロンに関わっていないのかとの質問が出され、直接事業の実施は行っていないが、場所の提供、事業展開のPRなど間接的には関わっているとの説明がありました。

・高齢者は、今後も増えてくるので、その対応をきちんと考えることが重要であるとの意見がありました。

#### **〔柱 2〕個別目標①「働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができています」**

・江南市は、待機児童がないというめずらしい市となっているが、学童保育が午後 6 時 30 分までということや、対象が小学校 3 年生までというのが、市民のニーズに合っているか、よく検証する必要があるとの意見がありました。

・市では、待機児童がないように努めているが、一方、国では、幼稚園・保育園の機能を一体的に行う「認定こども園」制度を設置し、今後は、「こども園」へと発展していく動きがあるとの説明がありました。

#### **〔柱 3〕「障害者の生きがいと安心した生活の確保」(説明のみ)**

#### **〔柱 4〕「健康な生活の確保」(説明のみ)**

#### **〔柱 6〕「地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保」(説明のみ)**

・〔柱 5〕「保険年金制度の健全な運営」の説明と各柱に対する検討については、次回以降の会議で行うこととなりました。

### **6. 平成 22 年度第 2 回以降のまちづくり会議(分野別会議)日程について**

・第 2 回の会議の開催日時を決定しました。

開催日時:平成 22 年 10 月 13 日(水)午後 2 時～ 市役所 2 階 第 1 会議室